

2020年5月28日

株式会社毎日放送
株式会社MBSメディアホールディングス

各位

ラジオの分社に向けた新会社設立について

株式会社毎日放送（本社：大阪市北区、代表取締役社長：三村景一）と株式会社MBSメディアホールディングス（本社：大阪市北区、代表取締役社長：梅本史郎）は、本日開催の両社の取締役会において、2021年10月1日付で吸収分割方式により毎日放送のラジオ事業を独立した会社とする方針ならびに本日付で分割準備会社を設立することを決議しましたので、お知らせいたします。

本件の実施については、総務大臣による放送免許の承継に係る許可を含む関係官庁の許認可を得られることが条件となりますが、開局70周年にあたる2021年、毎日放送はラジオとテレビがそれぞれ別会社として新たな歩みを始めます。

1. 目的

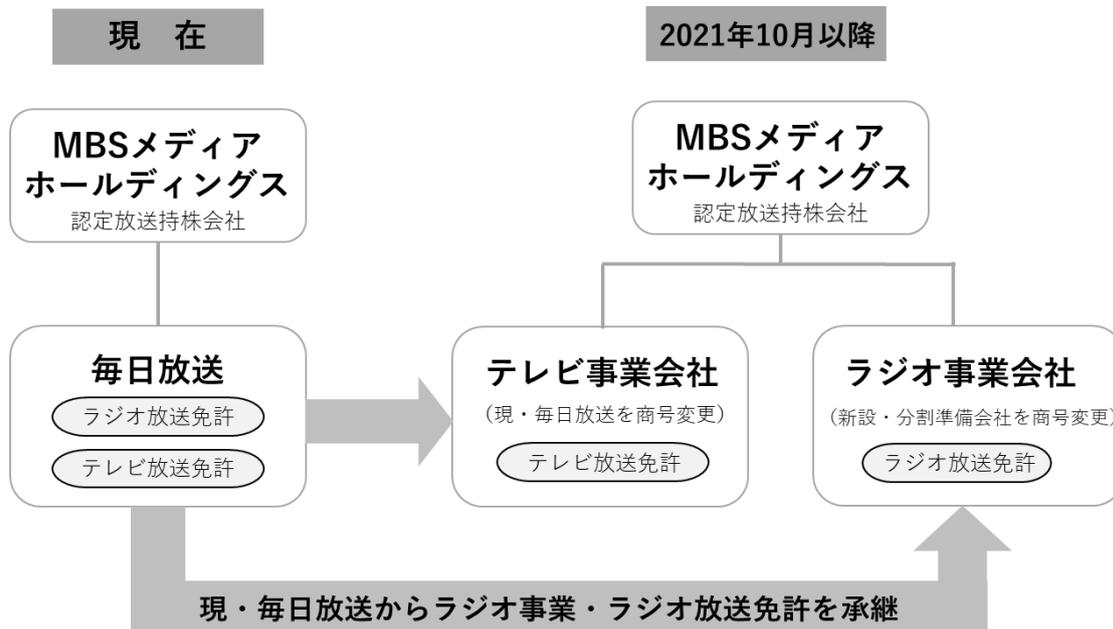
1951年に日本の民間放送で最初に放送を開始した毎日放送ラジオは、「MBS ヤングタウン」や「ありがとう浜村淳です」などの数多くの大ヒット番組を生み出してきました。現在も多くのリスナーに支持していただいておりますが、インターネットの発達とスマートフォンの登場などメディアやエンターテインメントの多様化により、広告収入は漸減傾向にあり、経営環境は年々厳しさを増しています。

一方、自然災害の頻発、今般の新型コロナウイルス禍などで人々が不安で不自由な生活を強いられる中、詳細な地域情報を提供してくれる身近な存在としてラジオの価値は見直されています。

また、毎日放送ラジオも立ち上げから参加したインターネットプラットフォーム「radiko」は、今では放送エリア外でも聴取が可能となったほか、過去1週間の番組が聞けるタイムフリー機能も加わりました。さらには、AM波とサイマル放送のワイドFM放送が始まりました。メディアとしての可能性が広がる中、変化に機敏に対応し、毎日放送ラジオが将来にわたって発展していくには、独立した会社として迅速な経営判断と機動的な業務執行を行うことが必要であり、自主独立の精神が高まることで新しいビジネスを生み出すこともできるとの判断にいたりました。

2. 移行方法

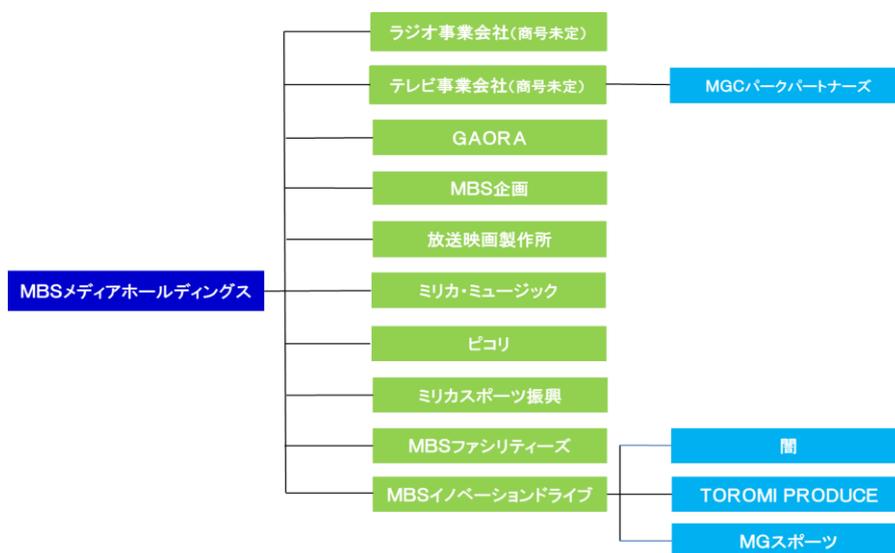
新設の分割準備会社（株式会社MBSメディアホールディングス100%出資）に株式会社毎日放送のラジオ事業を承継させる吸収分割方式を採用いたします。分割後、株式会社毎日放送はテレビ事業会社として商号変更し、その他の事業を行います。（両社とも商号未定）



3. 今後の予定

- 2020年5月28日 分割準備会社設立
- 2020年11月 吸収分割契約締結
- 2021年9月中 放送免許の承継の許認可等
- 2021年10月1日 ラジオ事業会社の事業開始および商号変更

【参考】2021年10月以降のMBSグループ体制図



なお、商号等の詳細につきましては、決まり次第お知らせいたします。

以上

本件問い合わせ先：毎日放送/MBSメディアホールディングス広報部